

≪データの読み方：教職員健康診断用≫

BMI		BMI(Body Mass Index)値は身長に見合った体重かどうかを判定する数値です。
血液検査	白血球数(WBC)	高値または低値の場合は感染症にかかっている可能性があります。また、喫煙者で高値となることがあります。
	赤血球数(RBC)	増加している場合は多血症、減少している場合は貧血が疑われます。
	血色素量(Hb)	血色素とはヘモグロビンのことで、酸素の運搬役を果たします。減少している場合、貧血などが考えられます。
	血小板数	出血した時、血を止める働きをします。
	白血球分類	白血球には5種類(好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球)あり、様々な疾患、病態により影響を受けます。
	血清総蛋白 アルブミン(A) グロブリン(G)	血清中の蛋白はアルブミンとグロブリンに分けられます。栄養状態の指標や、肝疾患の程度を判定するのに役立ちます。
	総ビリルビン	肝胆道系疾患や溶血により上昇します。増加すると黄疸が出現します。
	ALP	おもに肝胆道系および骨に異常があると上昇します。
	γ-GTP	肝胆道系に異常があると上昇します。アルコールの過剰摂取でも上昇します。
	ALT(GPT)	肝臓に多く存在する酵素で、肝障害の指標になります。
	AST(GOT)	肝疾患、心疾患、筋疾患、血液疾患などで上昇します。
	コリンエステラーゼ	肝臓で合成されるたんぱく質で、肝疾患などで低値を示します。
	LDH	肝臓病、心臓病、血液疾患、筋疾患などで上昇します。
	血清アミラーゼ	膵臓と唾液腺に存在し、これらの臓器の炎症などにより上昇します。
	血糖(PG)	糖尿病などで上昇します。
	HbA1c(NGSP)	糖尿病の血糖コントロール指標の一つです。
	HDL コレステロール	善玉コレステロールとよばれるもので、少ないと動脈硬化の危険性が高くなります。
	中性脂肪	値が高いと動脈硬化を進行させます。肥満や糖尿病にともなって上昇することがあります。
	LDL コレステロール	悪玉コレステロールとよばれ、多いと動脈硬化を進行させ、心筋梗塞や脳梗塞を起こす危険性が高くなります。
	nonHDL コレステロール	中性脂肪の値が400mg/dL以上の時に使われる指標です。
	クレアチニン	腎臓の機能が低下していると上昇します。
	尿素窒素(BUN)	腎臓の障害や脱水などで上昇します。
	尿酸	高い状態が続くと、関節痛(痛風発作)を起こしやすくなります。また、尿路結石も作られやすくなります。
	※RA・抗 CCP 抗体	関節リウマチの診断に用います。
※腫瘍マーカー	AFP(αフエトプロテイン)	肝細胞がんの診断に用います。
	CEA	おもに大腸がん、胃がん、肺がん、甲状腺がんの診断に用います。
	CA19-9	おもに膵がん、胆のうがんの診断に用います。
	PSA	前立腺疾患で上昇します。
	CA125	おもに卵巣など婦人科領域疾患の診断に用います。
	HCV 抗体	過去の感染を含めC型肝炎ウイルス感染の診断に使用します。(40歳時に実施)
	※TSH・FT4	甲状腺機能の評価に用います。
	※BNP	心不全を診断する指標になります。(心臓病検診オプションに含まれます。)
	※CYFRA・ProGRP	おもに肺がんの診断に用います。(肺がん検診オプションに含まれます。)
尿検査	尿蛋白	腎臓の障害により増えます。腎炎、糖尿病腎症などが考えられます。
	尿潜血	腎・尿路系疾患により増えます。
	尿ウロビリノーゲン	肝疾患、血液疾患の指標になります。非特異的に上昇する場合もあります。
便潜血		便中に含まれる血液の有無を調べます。大腸の疾患の診断に有効です。

※オプション検査

川崎医科大学附属病院 健康診断センター(2023年9月改訂)

教職員用

ちょこっと健診～フォローアップ健診～

どなたでも受けていただけます。特に以下のような方にお勧めです。

- 健康診断を受けていない方
- 職場健診で採血をしていない方
- 生活習慣病が気になる方
- 健康診断、人間ドックで3か月後、6か月後の再検査を指示された方

【曜日・時間】 月～土曜日 8時30分～10時00分

完全予約制
所要時間：約90分

【検査項目】 ＊検査項目の追加変更はできません

身体測定：身長 体重 BMI 腹囲 血圧

血液検査：血液像（赤血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、白血球）

脂質（総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、nonHDLコレステロール、中性脂肪）

肝機能（ALT、AST、 γ -GTP）

腎機能（尿酸、クレアチニン、eGFR）

血糖（空腹時血糖、HbA1c）

尿検査（尿蛋白、尿糖、尿潜血、尿中赤血球、尿中白血球）

結果説明

生活指導…保健指導、運動指導



【料金】 1,925円（税込）※川崎学園教職員用（一般の価格とは異なります）

治療が必要と医師が判断した場合は専門科へ紹介させていただきます。

【注意事項】

＊検査前日の食事は午後9時までに済ませてください。

検査当日は食事をせずお越しください。糖分を含まない水はお飲みいただけます。

＊検査当日の朝は、糖尿病の薬は、絶対に内服・注射しないでください。

その他の内服中の薬は主治医にご確認の上、可能であれば控え、検査終了後に内服してください。



【お問い合わせ】 川崎医科大学附属病院 健康診断センター

TEL (086) 464-1173（直通）

月～金曜日 9:00～16:00 土曜日 9:00～12:00